



芝小だより

6月号

令和4年5月31日
発行者 港区立芝小学校
〒105-0014
港区芝2-21-3
[TEL:03-3456-3072](tel:03-3456-3072)
FAX:03-3456-3071

「体験すること、実践すること」

校長 川原 哲郎

「聞いたことは忘れる、見たことは覚える、やったことはわかる」とよく言われます。この出典は、中国の思想家・儒学者『荀子』（儒効篇）の「不聞不若聞之、聞之不若見之、見之不若知之、知之不若行之」（聞かないことは聞くことに及ばない、聞いたことは見たことに及ばない、見たことは知る（理解する）ことに及ばない、知ったことは行った（実践した）ことに及ばない。学問は実践に至って終わるのである）だそうです。体験活動の大切さ、また実践できる力を養うことの大切さをよく言い表していると思います。

今週末は運動会です。子供たちはこれまで一生懸命に練習に取り組んできました。「友達と力を合わせて」「心を一つにして」など、運動会のように集団で一つのものをつくり上げる場面でよく目標に上がる言葉ですが、実際にはとても難しいことです。運動会は、子供たちがこのことを体験するととても貴重な場です。友達と協力しながらたくさん練習し努力して一つのものをつくり上げたときの充実感や達成感、喜びは、体験を通してしか味わえないもので、子供たちを成長させその後の集団活動などに生かされます。

今、1、2年生の生活科では植物を栽培しています。一人一鉢、自分の責任で世話をし、成長を観察していきます。植物の世話をする体験や、諸感覚を働かせての観察などをしていくことで、教科書や映像からでは得られない学びがあります。5年生は社会科と総合的な学習の時間で学習する稲作（米）について、実際に稲を育てています。田んぼではなく疑似的にバケツで作る稲ですが、それでも実際に稲を育てることから学ぶことは多いと思っています。

芝小学校では、体験を通した学びを大切にしています。これからも、地域に出て学習することや地域の方などをゲストティーチャーとして招いて学習することも予定しています。子供たちが本物に触れ、体験を通して学び、学んだことを次に生かし実践していける機会や環境をつくっていききたいと思っています。

「まなびポケット」の積極的な活用について

4月28日より、まなびポケットで欠席連絡をいただいたり、学校便り、学年だよりなど学校からのお知らせをデータで配信させていただいたりしております。データでの配信は、紙やインクの使用量を減らしたり、電気を節約できたりなど、環境負荷を低減させることができます。また、教職員の働き方改革にもつながります。まだまだ課題もありますが、改善を図りながら積極的に活用していきたいと考えております。しかし、紙ベースのものが必要な御家庭もあると思います。その場合は、遠慮なく担任にお伝えください。また、1年生については、準備が整い次第運用していきます。御理解、御協力をよろしく願いいたします。

6月生活目標「友達と仲良くしよう」

「学校生活アンケート」

港区では、いじめ防止の取組の一環として、児童への学校生活アンケートを実施しています。アンケートは、1、2年生に8項目、3年生以上に9項目の質問があり、自分に当てはまることに○を付ける形式になっています。

本校でも、月に一回アンケートを実施し、児童の心配や悩みを早期に発見できるよう、心配なことや困ったことがあった児童には、担任が丁寧に聞き取りをして、問題の解決に努めています。

児童が、安心して充実した学校生活を送れるように、今後も教職員全員で見守っていきます。御家庭からも、気になることがありましたら、ぜひお知らせください。

(生活指導部 松尾 真澄)

学びの部屋

～算数少人数の教室から～

算数の少人数授業は、基礎学力の向上を図ることを第一の目標に掲げ、3年生以上の学年で2学級は3コース、3学級は4コースに分かれて取り組んでいます。

基礎的・基本的な内容をしっかり身に付けることは、応用・発展的な学習をも可能にします。また、思考力、判断力、表現力の育成にもつながっていきます。

複数の教師が学級の枠を越え、多くの児童にかかわっていくことで、児童一人一人のよさや意欲を引き出し、児童が主体的に学習を進めていけるよう、算数少人数授業を展開していきます。

(算数少人数担当 佐藤 知弘)